

3-⑤ モビリティセンターの整備	宇都宮市	○宮サイクルステーション →H25.9指定管理者制度の導入 →指定管理者と連携したサービスの拡 充(情報発信等) →来館5,610人	○宮サイクルステーション →サービスの拡充 →施設に求められる機能やサービス 等の検証	○宮サイクルステーション →事前予約や2日間レンタルサービスの 開始, レンタサイクルの増台(3台) →利用状況の分析やレンタサイクル利 用者へのアンケートの実施 →来館5,664人(見込)	○	・指定管理者と連携したサービスの充実に取り組むことによ り, 来館者数の増加につながっている。 ・引き続き自転車の利用促進を図るため, 宮サイクルステー ションのサービス拡充に取り組むとともに, 施設機能等の検 証に取り組む必要がある。	○宮サイクルステーションの運営 →スポーツバイクセミナーの充実 →施設に求められる機能やサービス等 の検証
4-③ 自転車道の整備	国 栃木県 宇都宮市	○自転車専用通行帯 →宇都宮向田線, 下岡本上戸祭線, 大 沢宇都宮線, 西原・宮の原通り, 旧鹿沼 街道 ○自転車歩行者の通行の分離 →いちよう通り ○整備延長 →16.9km(市道)	○自転車専用通行帯 →大沢宇都宮線, 西原・宮の原通り, 旧鹿沼街道	○自転車専用通行帯 →大沢宇都宮線, 西原・宮の原通り ○自転車歩行者の通行の分離 →いちよう通り ○整備延長 →17.6km(市道)	○	・交通管理者と協議を行いながら, 道路状況に応じた整備 を着実に進めている。 ・自転車走行空間の整備は自転車・歩行者の安全向上に 資することから, 引き続き道路状況に応じた整備を推進する とともに, 狭隘道路等における安全性の高い整備手法を確 立する必要がある。また, ルール遵守等を図る取組を推進 する必要がある。	○自転車専用通行帯 →国道119号, 旧鹿沼街道等3路線 ○サイクリングロード →田川, 山田川の未整備区間, 鬼怒川 左岸区間

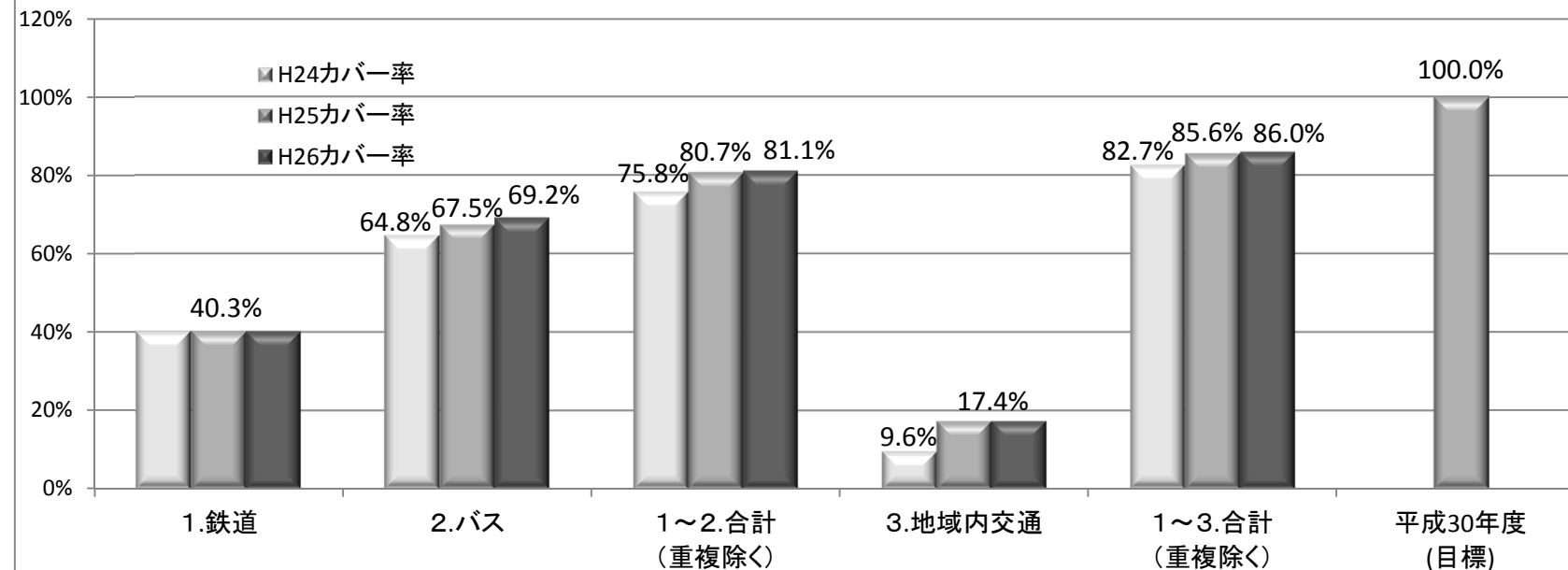
3. 施策の評価

・中心部及びその周辺における交通結節点でのレンタサイクルの充実や自転車走行空間の整備, バス路線の新設等により, 中心市街地へのアクセス性の向上と中心市街地の通行量の増加に寄与している。
・市街化区域の公共交通夜間人口カバー率の向上を図るため, 引き続き公共交通の充実に取り組むとともに, 中心市街地における自転車利用者・歩行者の回遊の安全性, 快適性の向上を図るため, 道路景観整備事業や自転車走行空間の整備とあわせて, レンタサイクルの適正配置や安全な自転車利用を促進する効果的な取組を検討する必要がある。

4. 取組の方針

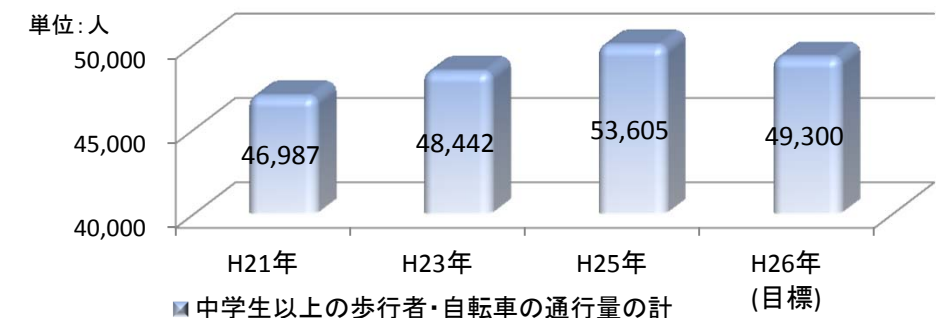
・ネットワーク型コンパクトシティの形成に資する交通基盤の形成を図るため, 都市拠点や地域拠点などを中心に, 引き続きバス路線の新設・拡充や利用環境整備などに取り組むとともに, 都心部や周辺市街地においては, 既存公共交通との役割分担や地域特性を踏まえながら, バス・タクシー車両等を活用した生活交通の導入に取り組む。
・また, 中心市街地における回遊性の向上を図るため, 引き続き, 歩行者空間や自転車走行空間の確保, レンタサイクルの充実等に取り組むとともに, ルール・マナー遵守に向けた取組についても実施する。

目標Ⅱ-① 公共交通夜間人口カバー率(市街化区域)



【利用圏域】1. 鉄道: 1,500m 2. 地域内交通: 当該自治会エリア全域 3. バス: バス停から半径250m
【算出方法】H17国勢調査(合併旧町含む)100m夜間人口メッシュの重心が利用圏域に含まれる場合, メッシュ内の全ての人口を利用圏域内人

目標Ⅱ-② 中心市街地通行量(休日)



目標Ⅱ-③ レンタサイクル利用者数

